

歴史まちづくり法の概要

(正式名称：地域における歴史的風致の
維持及び向上に関する法律)

文化庁 文化財部 伝統文化課

〒100-8959

東京都千代田区霞が関3丁目2番2号

TEL. 03-6734-2415 FAX. 03-6734-3820

<http://www.bunka.go.jp>

国土交通省 都市・地域整備局 公園緑地・景観課
景観・歴史文化環境整備室

〒100-8918

東京都千代田区霞が関2丁目1番3号

TEL. 03-5253-8954 FAX. 03-5253-1593

<http://www.mlit.go.jp/crd/rekimachi/index.html>

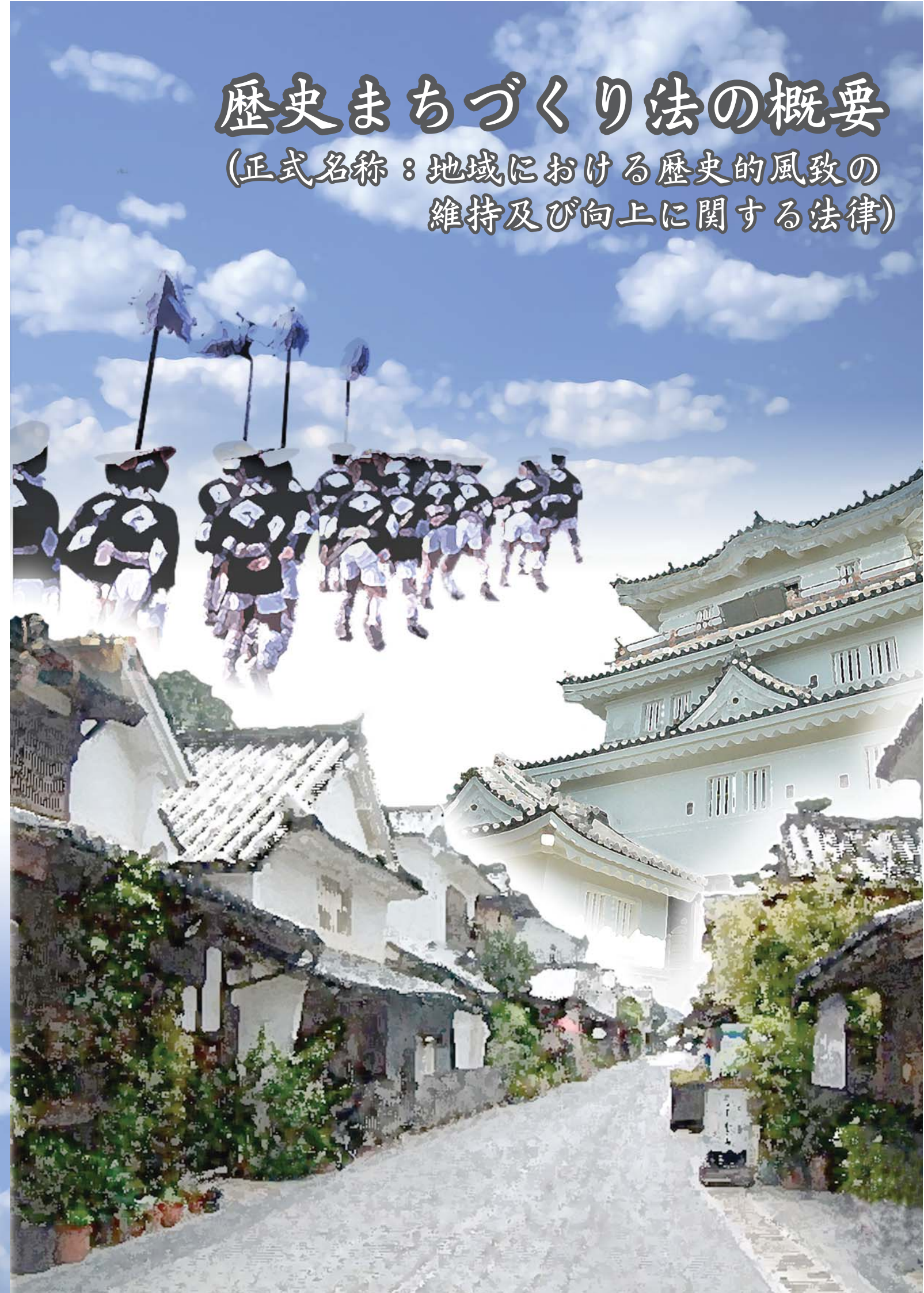
農林水産省 農村振興局 農村計画課

〒100-8950

東京都千代田区霞が関1丁目2番1号

TEL. 03-3502-6004 FAX. 03-3506-1934

<http://www.maff.go.jp>



歴史まちづくり法制定の背景 正式名称「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律(平成20年 法律第40号)」

我が国のまちには、城や神社、仏閣などの歴史上価値の高い建造物が、またその周辺には町家や武家屋敷などの歴史的な建造物が残されており、そこで工芸品の製造・販売や祭礼行事など、歴史と伝統を反映した人々の生活が営まれることにより、それぞれ地域固有の風情、情緒、たたずまいを醸し出しています。

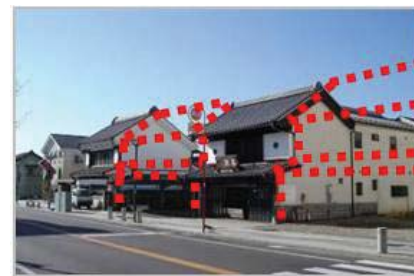
「歴史まちづくり法」は、このような良好な環境（歴史的風致）を維持・向上させ後世に継承するために制定されました。

歴史的風致が失われる現状

維持管理に多くの費用と手間がかかること、所有者の高齢化や人口減少による担い手の不足等により、全国各地で町家等の歴史的な建造物が急速に滅失し、良好な歴史的風致が失われつつあります。



景観にそぐわない近代的なビルが建設され、歴史的風致が損なわれている。



町家が壊され、空き地が目立ち歴史的風致が損なわれている。

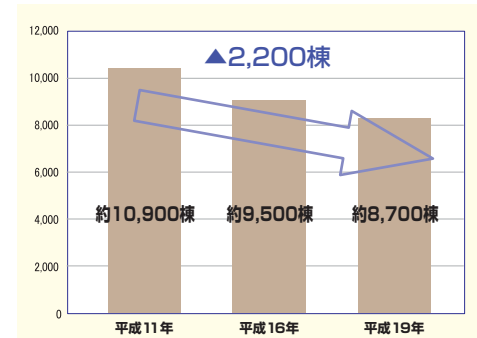


図1 金沢市のまちなかの例

8年間に、約2,200棟(全体の約20%)の歴史的建造物が失われている。
※出典:金沢市資産税課(H19)

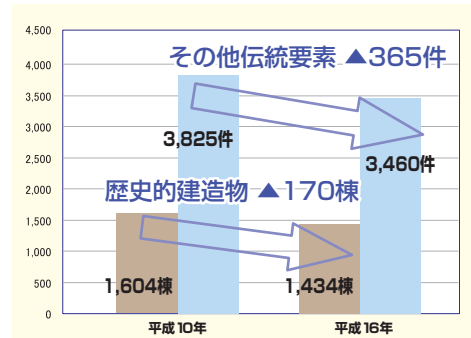


図2 萩市旧城下町地区の例

6年間に170棟(約10.6%)の歴史的建造物が失われ、その他伝統要素(塀、垣等)では、365件(約10%)が失われている。
※出典:九州大学大学院芸術工学研究院環境計画部門(H16)

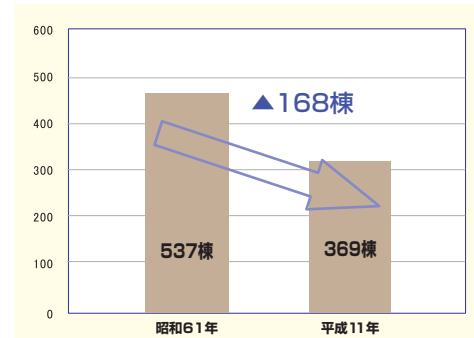


図3 台東区の例

13年間に、168棟(約31.3%)の住宅・店舗兼住宅などの戦前の住まいが失われている。
※出典:東京芸術大学・台東区(H14)

法制定の背景

我が国の歴史的なまちなみの保全等については、古都保存法、文化財保護法、景観法、都市計画法などに基づく制度があります。

- しかしながら、
- ・ 古都保存法はその保存対象を京都、奈良、鎌倉等の古都の周辺における自然的環境に限定していること
 - ・ 文化財保護法は文化財の保存・活用を図るためのものであり、文化財の周辺環境の整備を直接の目的としているものではないこと
 - ・ 景観法や都市計画法は規制措置を中心としており、歴史的な建造物の復原などの歴史的な資産を活用したまちづくりへの積極的な支援措置がないこと
- といった限界がありました。

そこで、全国の市町村を対象に、歴史的な資産を活用したまちづくりの実施に携わる“まちづくり行政”と“文化財行政”の連携により、『歴史的風致』を後世に継承するまちづくりを進めようとする取組を国が支援するための新たな制度として、文部科学省(文化庁)、農林水産省、国土交通省の共管の法律である“歴史まちづくり法”が制定されました。



古都保存法により良好に保存される自然的環境(神奈川県鎌倉市)



文化財保護法により保護される国宝の天守(愛知県犬山市)



景観計画により守られている歴史的なまちなみ(福井県大野市)

関連の審議会の報告など

国土交通省、文化庁の審議会などにおいて、歴史的風致の保存、継承や、核となる文化財の周辺部分の保存活用のための新たな制度の必要性が求められるとともに、保存活用する地方公共団体の取組に対する国の支援の必要性が述べられています。

社会資本整備審議会答申 今後の古都保存のあり方はいかにあるべきか(平成20年2月)

国は、現存する歴史的風致の保存・継承、及び消失するおそれのある歴史的風致の再生を図るまちづくりを積極的に推進するため、新たな支援措置または既存制度の特例措置を講ずる制度の枠組みを構築するべきである。

文化審議会文化財分科会企画調査会報告書(平成19年10月)

地域の文化財を周辺環境も含めて総合的に把握し、保存・活用する地方公共団体が中心となった取組を、国が支援する具体的な仕組みが必要である。

歴史的風致とは...

地域固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境と定義(法第1条)されており、ハードとしての建造物と、ソフトとしての人々の活動をあわせた概念です。



地元で「うだつの上がる町並み」と呼ばれている、国の重要伝統的建造物群保存地区において、江戸時代に起源を持つ市指定無形民俗文化財である「美濃まつり」等の行事が継続的に実施され、良好な歴史的風致を形成している。(岐阜県美濃市)

